

札幌市都市計画マスタープラン等見直し検討部会の進捗状況について

1. 検討部会の進捗状況と今後のスケジュール

	平成26年												平成27年																							
	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
都市計画審議会 内は、都市マス及び再開発方針に関する議題						第1回 5/15			第2回 6/11			第3回 7/17						第4回 9/9						第5回 11/20									第6回 2/4			
検討部会						第1回: ・都市マスの概要、見直しの必要性 ・都市マスの位置づけ等 ・札幌市を取り巻く現況、動向、課題 ・都市マス見直しの論点(案) など			第2回: ・見直しの検討項目 ・第2~4回検討部会の議論の進め方 など ・再開発方針の概要			第3回: ・都心・拠点・複合型高度利用市街地への都市機能の集積を進め、多様な交流をいかに創出するか ・再開発の目標と1号市街地の考え方			第4回: ・人口減少・高齢化が進行する郊外住宅地、一般住宅地はどうあるべきか ・立地適正化計画(策定検討の頭出し、制度概要説明)			第5回: ・第3回の議論の続き			第6回: ・第4回の議論の続き ・再開発方針、整備促進地区、2号地区の考え方			第7回: ・計画骨子案(1) ・再開発方針骨子案(1)												
市民意向把握等									6/30			7/30			10/6			11/4			12/10															
															市民アンケート 9/12 9/30			子どもアンケート 10/15 11/10			市民ワークショップ 12/6			子ども議会 1/8												

	平成27年												平成28年																							
	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
都市計画審議会 内は、都市マス及び再開発方針に関する議題						第1回			第2回						第3回						第4回									第5回			第6回(臨時)			
検討部会						第8回: ・計画骨子案(2) ・再開発方針骨子案(2)			第9回: ・計画素案(1) ・再開発方針素案(1)						第10回: ・計画素案(2) ・再開発方針素案(2)						第11回: ・計画案 ・再開発方針案						第12回: ・計画案 ※パブコメ後部分修正 ・再開発方針案 ※パブコメ後部分修正									
市民意向把握等																											パブリックコメント						策定			

※平成27年度の都市計画審議会・検討部会の開催時期は現時点での想定であり、変更になる可能性があります。

札幌市都市計画マスタープラン等見直し検討部会の進捗状況について

2. 市街地特性に応じた見直しの検討の方向性

以下に示す地域ごとに議論を展開し、都市全体の方向性の視点と合わせて検討を進めていく。

<都心>

- ・国際競争力を高める魅力と活力ある都心のあり方
- ・居住の受け皿としての都心づくりのあり方
- ・既存ストックの更新時期を捉えた新たな機能導入のあり方
(安全安心、エネルギー転換、低炭素都市づくりなど)

<拠点>

- ・郊外や隣接都市との連携を踏まえた拠点のあり方
- ・拠点における多様な都市機能の集積・誘導のあり方
- ・既存エネルギーネットワークの活用あり方

<複合型高度利用市街地>

- ・都心回帰の傾向を踏まえた多様な機能立地のあり方
- ・利便性の高い、人が集まる地域としての景観まちづくりのあり方（景観基本計画との整合）
- ・既存の公共施設・インフラの維持・更新のあり方

<一般住宅地・郊外住宅地>

- ・地域の価値を高める住民、民間事業者と連携したまちづくり活動
- ・地域マネジメントのあり方
- ・豊かな自然環境など地域資源活用のあり方
- ・交流機能、生活利便機能と地域交通のあり方

<市街化調整区域>

- ・みどりや農地の環境保全、公園、オープンスペース活用のあり方
- ・再生可能エネルギー導入など新たな土地利用ニーズへの対応のあり方



3. 検討部会における議論の概要

(1) 第1回 (H26. 6. 30) ・ 第2回 (H26. 7. 30)

現行都市計画マスタープランの位置付け・概要・取り組み状況や、まちづくり戦略ビジョンにおける基本的な考え方、札幌市を取り巻く現況・動向・課題等について情報提供し、見直しの方向性を議論

主な部会意見

- 20年後の都市型産業を想定した都市づくりを検討すべき
- 札幌の立地や気候条件、環境やライフスタイル、低炭素都市づくりに対応した施策が重要
- 公共・民間の投資が重なる地区や区役所等が立地する場所を成長させる必要がある
- 冬季の暖房エネルギーの縮減、冬季に安心して移動できる空間なども考慮すべき
- 拠点の特徴や地域制を踏まえ、拠点間の役割分担が重要
- 高速道路における都心アクセスの強化は重要
- 人口減少・高齢社会を見据え、モビリティが生活と経済を支えるには、公共と民間が一体となって実現していく必要がある

(2) 第3回 (H26. 10. 6)

都心・拠点・複合型高度利用市街地の位置付け・課題・方向性等について議論

主な部会意見

- 都心まちづくり計画の方向性を誘導する経済的な援助などを具合的に考えていくべき
- JR 駅なども含め、総合的にどのように便利な地域を多くつくるか
- ステージごとに、17の地域交流拠点のメニューを具体的に議論すべき
- まちづくりと路面電車をどのように関連してメニューを作るのかなどの戦略が必要
- 郊外でゼロカーボンを目指すなど、環境に優しく、それを望む人達が集まるなど戦略的に考えるべき
- 車いすの観光客や車いすの人も働きやすい場所などを都市の再整備にどう適用するかが重要
- 環状通を強化して、その内と外で区別した形で整理を進めていくことは、重要な発想と考える
- 丘珠空港は札幌市の戦略として大事な部分ではないか

(3) 第4回 (H26. 11. 4)

郊外住宅地・一般住宅地・市街化調整区域の位置付け・課題・方向性等について議論

主な部会意見

- モエレ沼公園など、これまで投資してきたみどりの価値を、周辺の住宅地再編やライフスタイルとからめて検討する必要がある、土地利用・住宅・みどりとの連携が重要
- 郊外において人口減少・高齢化が進んだ場合でも、そこに住みたい人に住んでもらう工夫が必要では
- 郊外を考える際、人口減少・高齢化への対応など守りの計画とするのではなく、これまで投資してきた環境を活かすなど、攻めの計画があってもいいのではないか
- 攻めの郊外を考える際、取捨選択が必要になるはずなので、どこを重点的に取り組むかを明確にするべき
- 交通計画について考える際、住民のニーズのほかに、公共交通が必要という行政のニーズを打ち出すことが、事業者に有益と考えられる
- 太陽光発電以外に、クリーンエネルギーを用いた計画など、地域別の特性に合わせて考えるとよい